



～訓子府町まちづくり推進会議条例に基づく～

第4回まちづくり推進会議

令和2年
12月23日発行

日 時：令和2年11月12日（木）18:30～19:50 場 所：公民館講堂
出席者：委員11名 事務局4名

協議事項

◆新型コロナウイルス感染症対策について

これまでに町で実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の事業を説明し、WG(ワーキンググループ)を実施し、各グループで集まった意見を担当者が発表しました。

～ 新型コロナウイルス感染症対策事業の主なものを抜粋（これから実施するものも含む） ～

〈感染予防対策〉

- ・全町民へのマスク配付を実施し、感染予防及び予防意識の向上を図った。
- ・災害時に一か所に集中し、3密になることを防ぐため、感染症予防対策を講じるための備品を購入。
- ・貸出図書や返却図書の除菌のため図書除菌機を導入。
- ・子育て施設の感染症防止対策を講じるための消耗品や備品を購入。

〈経済対策〉

- ・感染症の影響により減収となった事業所に向けて減収率に応じた支援を実施。
- ・各家庭の感染予防対策支援及び町内の景気回復を目的として、5,000円分の商品券を全町民へ配付。
- ・プレミアム商品券を発行（1セット4,000円分の券が3,000円で購入可能）
- ・町内唯一の生活路線バスの経営維持のために支援。
- ・感染症指定医療機関として新型コロナウイルスの検査や治療にあたる病院に対して支援。
- ・減便を余儀なくされている空港事業者に対し支援。

〈学生支援対策〉

- ・町内出身で町外の大学等に通っている学生に向けて、地場産品を送付。

〈オンライン環境対策〉

- ・町内全域の光ファイバ整備に伴って整備事業者に対し支援。
- ・町内の小・中学校においてオンライン授業に対応できるように個人端末の導入。



○ディスカッション内容に伴う主な意見等

①新型コロナウイルス感染症拡大前後における生活面での変化・困りごとなど

- A 委員：人の集まる会ができていない。(町内会行事、高齢者の交流会、商工会のイベント等)
- B 委員：北見のデイサービスにてコロナ対策の会議が開催されるたびに、会議があるため訓子府への派遣ができないと言われてしまうことがあった。
- C 委員：学校が臨時休校になったとき、家で子どもの面倒を見る必要があるため、妻が仕事を休まざるを得なかった。
- D 委員：酪農家は生き物を相手にして休むことができないので感染が怖い。(感染時の経営対応)
- E 委員：青年団体の活動ができていない。
- E 委員：報道で感染者が非公表なときがあるが、非公表の方が隣にいたら怖い。
- F 委員：子ども同士の関わり合いが減り、社会性が身につけにくくなっているのではと感じる。
- E 委員：病院に行きづらくなった。歯医者ですら行きづらい。



②新型コロナウイルス感染症によって影響を受けている人はどんな人か

- A 委員：商店街の影響は大きいと思われるので、今後も継続した支援が必要。(「GoTo イート」等もあるが、申請事務が細かく負担が大きい、入金が遅いなどの理由から町内業者の利用が少ない)
- G 委員：本州に住んでいる子どもが地元に戻って来られずに親族の法事に参加できなかった。

③新型コロナウイルスによって気づいたことは何か

- B 委員：消毒の徹底が当たり前になった。
- E 委員：通販での買い物が多くなった。
- D 委員：子供が家にいる時間が長いため、テレビやゲームの時間が増えた。
- F 委員：葬儀委員長挨拶が無くなる等、今までの文化やしきたりにも影響を及ぼしている。
- A 委員：リモート会議の重要性が再確認できた。
- H 委員：収益低下の影響からコロナに対応した新規事業の開発(インターネット販売等)が求められるようになった。
- G 委員：人との接触を断ってしまうと経済が停滞してしまう。

④新型コロナウイルス感染症対策として行政に期待するものは何か

- H 委員：町内イベントを行う上での基準が欲しい。(町独自の基準を町民と共に作ってはどうか)
- C 委員：町内で感染が発覚した場合の対応を明確化してもらいたい。

その他

- ※WG を行う中で意見よりも感想という割合が強いものをその他として取り上げる。
- D 委員：100周年記念の花火が良かった。(新型コロナの対策としてサプライズでの実施となったが、非常のよかったとの意見。)

まちづくり推進会議の資料は、役場庁舎(正面玄関横)および図書館に設置しています
「まちづくり情報コーナー」で閲覧ができます。

